

専徳寺報

第392号

平成23年9月16日発行
浄土真宗本願寺派
専徳寺

専徳寺納骨堂お申し込み受付中

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

秋讃仏会あきさんぶつえ（彼岸会）ほうよう法要

併修 戦没者追悼法要

御案内

秋のお彼岸をご縁に、恒例の讃仏会法要をつとめます。にぎにぎしくご参詣ください。作品展も開催しております。

日時 9月28日(水) 昼1時半〜3時半
※夜座なし

9月29日(木) 朝10時〜12時
昼1時半〜3時半

講師

本願寺勸学

深川 倫雄和上(俵山)

法座奉仕 藤生・南岩国地区

◆よろしくお願いたします。

参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)を準備ください。

戦没者追悼法要 28日昼座

戦没者を追悼し、ご遺族の焼香があります。

作品募集ー秋の展示会

絵画・手芸品・工芸品等、皆様の作品を本堂(庫裏)に展示いたします。法要前日までにお持ちください。ご参加お待ちしております。
【展示期間・11月の永代経法要まで】



歡喜会法要余香 8月26・27日

【講師】和田俊昭師 【参詣数】(26日) 昼座91名、夜座38名、(27日) 朝座88名、昼座92名【お鉢米】大田峻秀、広田尚敏、中崎清人【お供物】藤井則枝、弘中和子【ご報謝】重村康子、西岡美知子、村重良子、兼中咲子、古川和枝、村中アサエ、伊原久代、大倉紀代子、竹田典子、松村八重子、清水房枝、森重牧子、山口節子、浅林和子。通津上の皆様、仏婦理事様、法要総代様、暑さの中、ご報謝有り難うございました。

老松伐採 (8月29日)

経蔵前の二双の老松の一方が枯れました。年輪から樹齢210年。長い間寺の景観を荘厳してくれました。



1年前の元気な時の姿



如来・人・言葉 87

信仰生活の規準

深川 倫雄

真宗のご法義において、信心のお説教と「報謝」の理屈とは違います。信心の側は如来さまのお話でありまして、ご報謝は私の努力です。



如来さまはどう言われるかというと、「五逆も謗法も」撰せざるにはあらず」ということは、救うということ。しかしご報謝としては「小罪も造らず」という努力をしなさいということ。それは「おまえようやうたぞよ、よくおやじを殺したぞよ」と誉めて救うのではない。「おまえは自分の地獄の業に引き回されて父を殺したか、母を殺したか。この弥陀しか救う親はおらん、おまえを落しはせんぞ」というお慈悲を告げて下さるのが信心の話。それを誉めてるんじゃないんだから、そこをところから、ご報謝としては、小罪も造らずと努力していく。

「ご本願」 というものの中に、私どもの信仰生活の規準を求めますが、私は、このご報謝が信仰生活だと思えます。ご信心は信仰そのものです。信仰生活のご本願に於ける規準は何かちゅうと、一つはここにあります。重罪を告げて末造を押し止したもう(小さな罪を抑制する)。撰せざるにはあらざれども(救わなければならないけれども)、悪いことはするな

よというのが阿弥陀さまなんです。悪いことはするなよというのは押し止であつて、私ども信仰生活を指示している。慎しみの生活である。しかしそれはマイナスの言い方。

悪いことはするなと言ふんですから、ええことばしなさいというのはここからは出てこんのであります。ええこと、悪いことの規準はいろいろあるけれども、又、それは別に申さねばなりません、悪いことをするなという規準がこの「唯除五逆謗正法」(※1)です。「あんなあ、何故悪いことをせんよに心がけてるんですか」

「そりやあんなあ、悪いことをしちゃあいけませんわあね」というのはただの人。

「親さまが泣きなされるから、親さまにご心配をおかけするから」。心配をかけても救わんわけではない、というのがここ。

もう一つ、もつと積極的にどんどんやろうという根拠はどこか。「乃至十念」(※1)の「乃至」であります。多念をばげむ、一声でよろしいというのになくさん称えるというのは、これはもつともつご報謝を致しましょうというプラスでいうとる。

ご本願に於ける信仰生活の規準は、マイナス・慎しみの側からいうと「唯除五逆謗正法」。プラスの側からいうたら「乃至十念」。そこは文如上人(※2)のご法語に、「信心は大悲の仏智にすぎり、報謝は行者の厚念に励むべし」とあります。「仏力を談ず」より)

※1 本願文「設我得仏 十方衆生 至心信樂 欲生我國 乃至十念 若不生者」

不取正覺 唯除五逆謗正法(訓読…たとい我、仏を得んに、十方の衆生、心を至し信樂して我が國に生まれんと欲うて、乃至十念せん。もし生まれずは、正覺を取らじ。唯、五逆と正法を謗謗せんをば除く) ※2 本願寺第十八代(門主) (1744〜1799)

寺内だより

み仏にいだかれて(葬儀勤修)

▼8月14日御往生

錦見 野原 成夫様 (88)
喪主 藤本 寛子様

▼8月29日御往生

岩国 杉田 正生様 (81)
喪主 杉田 和久様

▼9月6日御往生

黒磯 木村 光男様 (62)
喪主 木村 光成様

▼9月8日御往生

浪の浦 井原 和江様 (75)
喪主 井原 義之様

ご恩を偲びつつ

【法事勤修】 8月

【通津】 土井勉様 3・33、村岡修二様 1・1、竹中信子様 3、【保津】 熊田征三様 25、土井忠臣様 17・200、赤崎様 1、粟津節子様 1、【青木】 村岡厚紀様 7、藤本智弘様 1・3、岡村房子様 50、森上敏雄様 3、岩中敏夫様 1、【黒磯】 森重哲夫様 1、【藤生】 弘中弘子様 3、【市内】 藤本伸充様 7、伊

藤英子様 1、岡村悟様 13・25、土井一様 3、【山口】 河野博様 150、【神戸】 竹田経雄様 1。

有難く存じます

【永代経志納】

初盆のご縁に

金壹百萬円也

神奈川 野村 明憲様

尊い永代経志を賜りました。謹んでお供え申しあげます。

おめでと〜うございます

法物下付式(入仏式)

●8月29日 御三尊(20代 松)

今津 谷重 勝信様

お給仕の慶び一入に存じます。

ご報告いたします

岩国仏婦連絡会議(8月30日 光福寺)【参加者】 河本多喜子

旅行中止のお知らせ

恒例の秋の京都参拝ですが、今年「団体参拝(10月13〜15日)」があるため中止いたします。旅行の準備をされていた皆様には大変申し訳ございません。来年までお待ちください。(住職)

前号の訂正とお詫び

【法要余香】「御報謝」に、通津地区の佐々井尚子様が抜けていました。